

今の
「生きてる」って
感じが好きです。



はちす ゆうま
八須 友磨さん(30代)

<金山町>

宿とカフェ
(起業)

2016年 Iターン

自適に暮らすため金山町へ移住

『金山町は人口約1,800人、高齢化率が進んでいる山間部の町です。反面、日本で数えるほどしかない天然の炭酸水が湧き、炭酸温泉が湧く温泉施設があるなど特有の豊かさがあります。また、伝統野菜の奥会津金山赤カボチャは町の特産品として栽培を推進しており、収穫時期には道の駅に多くの購入者が訪れます。』

そこに移住してきた若者が八須さんです。東北一周の途中で出会ったマタギの猪俣昭夫さんに刺激を受け、同じ生活してみたいと金山町に移住しました。八須さんが移住を決意するまで、金山町での暮らしがりをなどを宿とカフェ「みみをすます」にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年8月26日

移住のきっかけと金山町での暮らし

<移住のきっかけ>

埼玉県に生まれて、都内に就職。1年半、営業職を経験したのですが、身を削るような仕事は合わないと思い、退社しました。学生の時から旅行が好きだったので、東北は来たことがなかったので、退社後、歩いて東北を巡ろうと思い、会津田島駅から出発しました。家を出る時、父に「会津の金山町にマタギをしている猪俣昭夫さんという方がいるようだ」と言われ興味を持ち、猪俣さんに連絡をして、まずは金山町に向かいました。実際に猪俣さんとお話できたのは短い時間でしたが、その時の話にすごく影響を受けました。

その後、青森県の竜飛岬を目指して田舎町を移動したのですが、漁師町には漁師ならではの生活感があり、山間部には山に近い生活が感じられて、すごくいいな、と。2か月のんびりと東北を巡ったのですが、歩くと自分と向き合う時間なんだと気が付きました。その後、再度猪俣さんに会いに訪れ、猪俣さんのお世話になりながら金山町に移住することにしました。

<金山町での生活>

金山町では地域おこし協力隊として活動しましたが、猪俣さんに山のことや日本ミツバチのことなど、山の存在が近い金山町で暮らすということを教えてもらったことが、自分の生活基盤に大きな影響を受けました。



1件目の古民家は猪俣さんに紹介いただき、2件目は自分で探しました。金山町に住んでから、何が人として自然なのかを考えるようになりました。

<移住者へのアドバイス>

古民家を借りるのは他の地域でも大変だと聞きます。特に普段は人が住んでいない家が多い地域ですと皆さん苦勞するところだと思うので、地域の方に相談し、協力してもらった方がいいと思います。

金山町での仕事と町の魅力

<金山町での仕事>

今は「みみをすます」という、カフェと金山町を感じてもらえるような食事を出す宿をしています。山の旬を採りにいったり育てているニワトリの世話をしたり、お米や野菜も作っているので、土仕事もします。

妻も昭和村への移住者だったのですが、今はこの古民家でカフェをやっています。

あと、地域で手が足りていないところに助っ人としていく制度に登録して、月に10日ほど外で働いています。宿とカフェで生計を立てられるところまで来たのですが、地域の人と関わることも大事だと思っています。例えばガソリンスタンドだったり、老人ホーム



金山町に来てから出会った奥様がカフェを経営

の掃除をしたり、冬はスキー場にも行っていますよ。

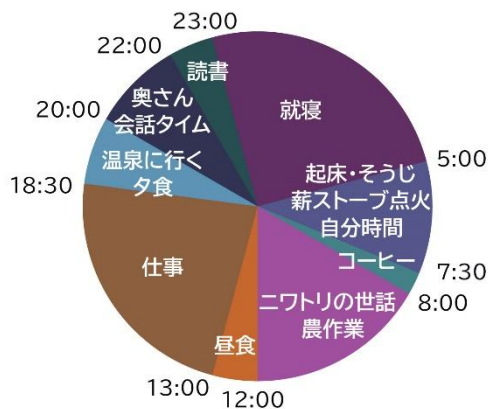
<小さな集落の魅力>

この地区は10軒の家があるんですが、住んでいるのは6軒です。一人暮らしのお年寄りがほぼですが、私はおじいちゃんやおばあちゃんが笑っているのが大好きなんで、この地区が気に入っています。よく話をしに行くんですが、2時間くらい話し込んでくこともありますし、家にもよく遊びにも来てくれます。

金山町のいいところって、おじいちゃんやおばあちゃんが笑って生活しているところだと思うんです。話をしているうちにいろいろと仕事を頼まれます。仕事と言っても「あれ片付けて」とかの雑用なんですけど、頼られている感じが存在意義に繋がっています。その後、お礼に野菜とか届けてくれるんですよ。今日も大きな大根をいただきました(笑)

6軒の中にもう一人、移住して来た方がいます。一人で住んでいるのですが、その人の存在が私にとってすごく大きいです。「ああ、こういう考え方もあるんだ」って気づいたり、生活の相談ができたり、居てくれることで安心できます。たった6軒の集落に2組の移住者がいることで、おじいちゃん、おばあちゃんも話相手ができ、私たちも生活の知恵や調理法などいろいろ教えてもらえて、いい関係だと思います。田舎暮らしの良さはこういうところだと思います。

ある一日のスケジュール



八須さんの行動歴

埼玉県生まれ ⇒ 東京都(大学) ⇒ 東京都(就職) ⇒ 歩いて東北一周 ⇒ 金山町へ

移住を検討している方にアドバイス

自力で古民家を貸してもらえる所を探すのは大変。地域の人や役場の協力が必要。



宿とカフェ「みみをすます」の前で

現住人口 1,837人 男性/898人 女性/939人

面積 293.92平方キロメートル

標高 海拔 306.6m(金山町役場)

最寄駅 JR只見線「会津川口駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津坂下IC」

保・幼・こ 認可保育所 2か所

小学校数 公立 2校

中学校数 公立 1校

高校数 公立 1校

病院数 診療所 1か所

町の特徴 町の特産品である赤カボチャや沼沢湖のヒメマスなど、ここだけの素材が光る地域である。世界でも珍しい軟水の天然炭酸水「奥会津金山 天然炭酸の水」は、サミットなどのテーブルウォーターになるなど、日本を代表する天然水となっている。

**移住
サポート
窓口**

金山町役場(企画課)
金山町ホームページ
<https://www.town.kaneyama.fukushima.jp/site/ijyuu/>
電話:0241-54-5203
メール: kikaku@town.kaneyama.fukushima.jp

